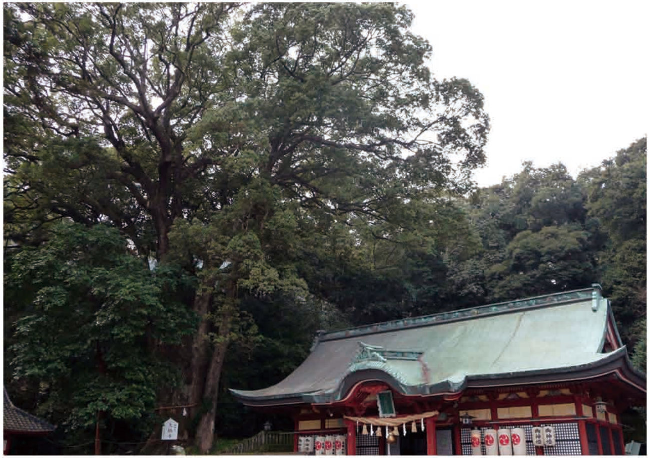
## 朝見神社のクスノキとアラカシ林

朝見２丁目　朝見神社
県指定天然記念物（植物）
　昭和 54 年 5 月 15 日指定
県指定特別保護樹林
「朝見神社の森」
　昭和 49 年 3 月 15 日指定
市指定生物環境保護地区
「八幡朝見神社のアラカシ林」
　昭和 52 年 3 月 1 日指定



朝見神社の社殿裏側の緩斜面にはアラカシやクスノキ、スダジイなどの高木樹が茂る境内林がある。このほか林内にはヤブツバキやバクチノキ、ムクノキ、ヤブニッケイなどの亜高木、アオキ、ネズミモチ、クスドイゲ、イヌビワ、ジュズネノキなどの低木、ハナミョウガ、ムサシアブミ、クリハラン、ナガバジャノヒゲなどの草本類が生育し階層構造の整った樹林である。樹林内では多くの野鳥も生息し、良好な生態系が維持された樹林として生物環境保護地区にも指定されている。御神木となっているクスノキは社殿の南側にあって根回り 15.7 m、胸高幹囲 11 m、高さ約 25 mで、枝張りも東 21.7 m、西 20.5 m、南 27.2 m、北 19.2 mで樹形も整い、樹勢も旺盛で、神社の景観を一層高めている。

（小田　毅）